

4月25日(土)

(1回目)10:00～12:00

(2回目)14:00～16:00

参加費 100円

場所：憲法いかそう茨木市民の会事務所（駅前2-1-27 磯川ビル3F）

コロナから命と暮らしを守るつどい

～医療、福祉切り捨てる安倍・維新政治を終わらせよう！

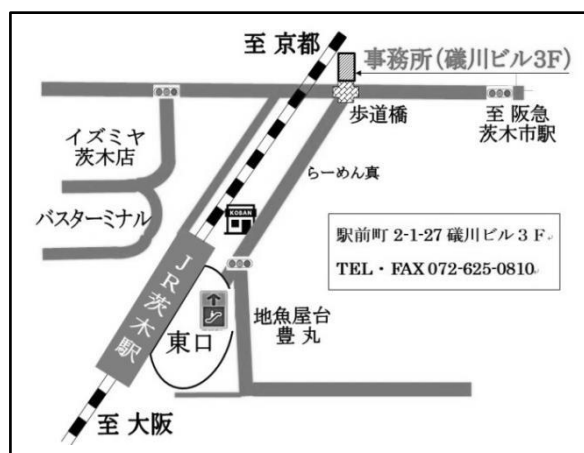
*講演：〈内科医〉山本英彦さん

(医療問題研究会)

新型コロナ感染症対策を科学的知見から
わかりやすく解説していただきます

*厚労省・文科省交渉(4/17)や、茨木市との
交渉の報告を行います

*新型コロナについての不安や疑問、行政への
要望など、意見交換をします



コロナウィルス感染が命と生活に重大な影響をもたらしていますが、安倍内閣も大阪・吉村知事も「自粛要請」という自粛の強制ばかりで、行政自らの感染予防の責任を果たさず、市民に自己責任を押し付けて丸投げしたままです。

「緊急事態宣言」と自粛の強制でコロナ感染は絶対に止められません。生活が疲弊し、格差と貧困が拡大するばかりです。対策は、まず国がウィルス検査の大幅拡大と、感染者が安心して入院できる医療体制と個人への雇用・休業補償を約束すること。そのために医療従事者を増やす緊急予算を大規模につくることです。

また選挙中に多くの方から介護、仕事、雇用にかかわる具体的な問題・要求を聞きました。私たちは4月17日に厚労省などとの交渉に参加します。また茨木市との交渉も再開します。このつどいで、コロナ問題の背景と国、茨木市への要求について話し合い、交渉にのぞみましょう。ぜひ、ご参加ください。

【医療問題研究会とは】

「エビデンス(証拠)に基づく保健・医学・薬学」を理念に、「インフルエンザ薬タミフル」のウソなど、世界的な製薬大企業の横暴、不正を告発し続けています。放射能の健康被害も訴え続け、福島原発の小児甲状腺がん多発を実証した論文も国際疫学誌に掲載されました。

【皆さんにお願い】

- ①コロナウィルス感染防止を考慮して密集を避けるため、このつどいは午前・午後の2回に分けて開催します。参加人数の事前把握などのため、参加ご希望の方は可能なら事前に、どちらに参加を希望されるかご連絡ください。
- ②会場の換気や消毒は十分に行います。
- ③マスクを準備できる方はマスクを着用してご参加ください。準備できない方は、会場にマスクを準備しますのでご利用ください。
- ④せき・熱など、体調の悪い方はご遠慮ください。

【連絡先：070-5653-7886(担当：小山)】